

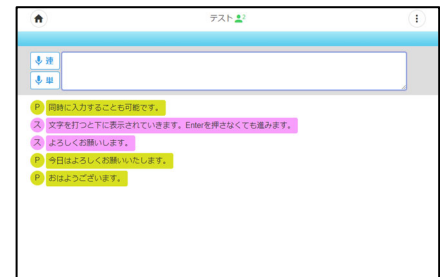
少人数の会話で使えるチャットツール UniTalker の使い方(チャット編)

はじめに

UniTalker(ユニトーカー)は、ウェブブラウザ上で利用できる少人数向けのチャットツールで、オンラインでのミーティングや学生同士の話し合いに手軽に利用することができます(開発:筑波技術大学産業技術学部 鈴木拓弥教授)。登録や利用に料金はかからず、パソコンやスマートフォンなどからアクセスするだけで利用可能です。

オンラインで使用できるチャットツールは、さまざまなものがありますが、UniTalker の特徴としては、入力中の文字がリアルタイムに表示されたり、入力者名が表示されたりするという点があります。このため誰がどのような内容を入力中かを確認しながら、待ち時間やタイムラグを感じずにチャットに参加することができ、聴覚障害の有無に関わらず、スムーズに文字でのコミュニケーションをとることができます。また、ルーム作成者が「チャットルームを削除する」まで、トーク内容が残るので、過去のやり取りを振り返ることもできます。

なお、本システムには音声認識による入力機能もありますが、ここではテキスト入力によるチャットの方法について説明します。



UniTalker チャットの様子

使用例

【オンラインでのディスカッション】

パソコンにオンライン授業等の画面と UniTalker を開き、参加者がそれぞれチャットを入力しながらディスカッションを行う。



【対面でのグループワーク】

聴覚障害学生もいる場でのグループワークで、各自パソコン・タブレット・スマートフォンなどの端末を用意し、それぞれが意見をチャットで入力しながら行う。



1. サイトアドレスと使用できるブラウザについて

UniTalker の URL は以下のとおりです。

【UniTalker ホームページ】 <https://unitalker.com/>

※検索の際は、カタカナではなく「UniTalker」で検索してください。



UniTalker トップページ

各ブラウザの対応については下記をご覧ください。

各ブラウザの機能対応状況

	Chrome(Win, Mac)	Mobile Chrome(Android)	Edge(Win)	Safari(Mac)	Mobile Safari(iOS)
閲覧	✓	✓	✓	✓	✓
文字入力	✓	✓	✓	✓	✓
音声認識	✓	✓	✓	✓	✓

2. ログインユーザとゲストユーザについて

UniTalker には、ログインユーザとゲストユーザの 2 種類があります。ログインユーザは、Google アカウントまたは Twitter アカウントによりソーシャルログインすることで、ルーム作成や削除、ルームへの招待、コメントの編集など、全ての機能を利用できます。一方、ゲストユーザは招待されたルームにアクセスし、チャットを入力することが可能ですが、ルーム作成や招待、チャットの編集などの機能には制限があります。詳しい機能制限については、下記をご覧ください。

ゲストユーザのみでも、すでに作成されているルーム内でチャットをすることは可能ですが、ルームを作成するにはログインユーザが必要となります。以降、利用時の流れに沿って手順を説明します。

なお、Google アカウントまたは Twitter アカウントによるログインは、ユーザ名のみを取得しており、ユーザ名以外のデータは一切連携していません。

「ゲストユーザ」と「ログインユーザ」の違い

	ゲストユーザ	ログインユーザ
ルームに入室する	✓	✓
コメントする (音声認識含む)	✓	✓
コメントの表示を変更する	✓	✓
コメントの音声認識設定を変更する	✓	✓
コメントの表示を一括変更する		✓
コメントを翻訳する		✓
過去のコメントを編集する		✓
ルームを作成、更新、削除する		✓
ルームの入室権限を保持する		✓
ルームへ招待する		✓
ルームメンバーへ編集権限を与える		✓
ルーム参加者をブロックする		✓

UniTalker には自動翻訳機能もついているんだ。

⋮ (画面右上)>> 設定 >> 言語を選び、会話すると自動で翻訳されるよ。

- ・英語
- ・ポルトガル語
- ・スペイン語
- ・中国語

に対応してるので使ってみてください。



3. ログインユーザの設定・操作方法

まず、ここではログインユーザの設定・操作方法として、ログインからルームの作成、招待の方法、チャットの入力方法などについて説明します。

1) ログイン

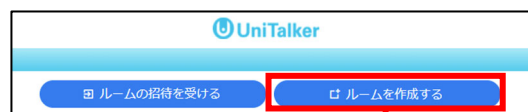
Google アカウントまたは Twitter アカウントを選択し、アカウントアクセスを許可してログインします。



2) ルームの作成

チャットを始める前に、まずチャットルームを作成する必要があります。
手順は以下のとおりです。

(1)画面上部に表示される「ルームを作成する」をクリックする(右図)。



(2) 「ルーム名」を入力する。

ゲストユーザを招待したい場合は、「ゲストの参加を許可」にチェックを入れる(初期状態でチェックが入っていますが、外れていないか確認をしてください)。



(3) 「決定」をクリックすると、画面上にルームが追加される。



3) ルームへの招待

チャットルームを作成後、参加者に対してルームの招待を送ります。これには、「招待 URL」「短縮コード」「招待 URL の QR コード」の 3 つの方法があります。下記のとおり、それぞれ有効時間の設定が異なっているため、参加者へお知らせするタイミングに合わせて使い分けることができます。有効時間はログインユーザが「招待」ボタンを押した時点からカウントされます。有効時間までにログインできなかった場合には、再度「招待」をクリックすることで、コードの再発行ができます。

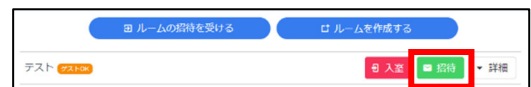
【有効時間】

- ・招待 URL : 24 時間有効
- ・短縮コード : 10 分間有効
- ・招待 URL の QR コード : 24 時間有効

※「招待 URL」と「招待 URL の QR コード」は、受け取った参加者がクリックまたは読み込むと、そのままルームに入ることができます。一方、「短縮コード」は、参加者自身が UniTalker のホームページを開いて、「短縮コード」を入力する必要がありますので、利用する場合には、ホームページの URL も一緒に伝える必要があります。

【招待方法】

(1) 作成したチャットルーム名の右側の「招待」をクリックする。



(2) いずれかの招待方法から URL 等をコピーし、参加者にメールなどで送る。

※QR コードのコピー方法は、QR コード上で右クリックをして、「画像をコピー」を選択します。コピーしたい場所にカーソルを移動し、右クリックで「貼り付け」を選択します。




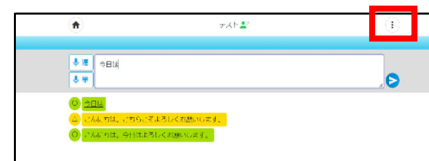
4) チャットルームへの入室

チャットルーム名の右側に表示されている赤字の「入室ボタン」をクリックする。




5) 設定(表示名やテキストの色など)の確認

(1) 入室後、画面右上の三点リーダー  をクリックし、設定画面を開く。




(2) 表示名やテキストの色などを確認する。

【設定項目】


項目	設定内容	注意点
表示名	名前を入力	他の参加者の画面にも表示されます。
ユーザーアイコン	好きな画像をアップロードして、アイコンを作成することができる。	ログインユーザのみ設定が可能です。
言語	表示言語を日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語から選択可能。	画面の表示言語と翻訳機能の設定です。(音声認識を使用し、会話すると自動で翻訳されます。)
テキスト色(I)	文字色の変更が可能。 	誰が発言しているか見た目で判断しやすくなるので、参加者がそれぞれ異なる色になるよう設定することをおすすめします(p.10も参照)。
テキスト背景色(II)	文字の背景色の変更が可能。 	※他の参加者の画面にも反映されるので、見えづらい色の組み合わせにならないように気をつけましょう。
ブラウザ背景色(III)	チャット画面全面の色を変更可能。 	この設定は他の参加者画面には反映されないため、各自が見やすい色・間隔・サイズを選ぶといいでしょう。
テキスト表示間隔(IV)	前後のテキストとの間隔を調整する。	
テキスト表示余白(V)	テキスト背景色のサイズを調整が可能。	
文字色と背景色の表示サンプル	テキスト色(I)～テキスト表示余白(V)の設定内容の確認ができる。	
自動投稿	入力を停止してから「入力待ち時間」で設定した時間経過後に、入力中の文字を自動的に確定とすることができる。	自動で確定したくない場合はチェックを外します。この場合、入力終了後はEnter または送信ボタン  をクリックして、手動で確定します。
入力待ち時間	自動投稿を ON にした場合、入力から自動投稿(確定)までの秒数の設定ができる。	入力が止まった時間で自動的に確定されます。各自の入力スピードに合わせて調整しましょう。
音声認識完了待ち時間	設定した時間で音声認識を区切ることができる。	音声認識を使用しない場合には設定不要です。
音声認識の継続時間	短い:音声データを小分けで通信。 長い:音声データをまとめて通信	音声認識を使用しない場合には設定不要です。

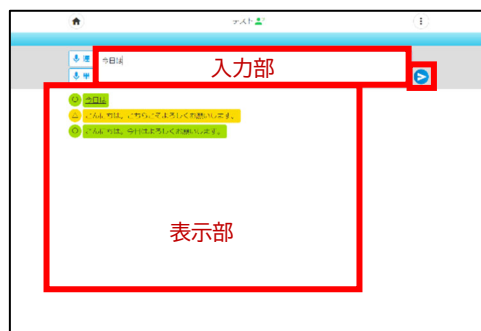
6)チャットの入力

入力部に文字を入力すると、表示部にもこの入力過程がリアルタイムに表示されます。

入力を確定する時は、Enter または送信ボタン  をクリックします。

また、入力した文字は一定時間を経過すると自動的に確定となり入力部から表示部に送られます。5)の設定画面より、「入力の待ち時間」の秒数(0~60 秒)を変更することができます。

自動投稿を使用しない場合には、設定画面の自動投稿を「使用しない」に変更しましょう。この場合、発言ごとに Enter または送信ボタン  をクリックする必要がありますので、ご注意ください。



7)チャット内容の修正・削除



ログインユーザは、入力確定後の文を修正したり、確定後に文を削除したりすることができます(ゲストユーザは、ルームを作成したログインユーザに許可を得ることで、文の修正や削除が可能となります。設定方法は p.8 「9)チャットルームの管理>メンバーリスト」をご確認ください。)

修正・削除したいチャットをクリックして文章を修正した後、「決定ボタン」をクリックすると確定します。

また、「削除ボタン」をクリックすることで選択した行の削除が可能です。



8)チャットの終了

終了時は左上のホームボタン  をクリックするか、右上の三点リーダー  から「ログアウト」をクリックすることでルームから退出ができます。

また、ブラウザを閉じると自動的にルームから退室します。

退出後に再入室する際、ログインユーザは入室権限が保持されますが、ゲストユーザは、再度招待 URL または QR コードから入室する必要がありますので、ご注意ください。



9)チャットルームの管理

作成したチャットルームの「詳細」ボタンから、ルーム名の変更やメンバーの管理を行うことができます。



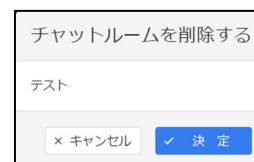
チャットルーム編集

「ルーム名」と「ゲスト参加の許可設定」の変更ができます。



チャットルーム削除

チャットルームを削除することができます。削除後はログを確認することができませんので、使用の際にはご注意ください。



メンバーリスト

「編集不可」を「編集可」に変更することで、参加者が自分で入力したチャット内容を修正することができます。



「削除」をクリックすると、参加者をチャットルームから退出させることができます。ただし、チャットルーム自体が残っている場合、メンバーリストから削除しても、参加者は招待 URL 等をクリックすれば再度同じチャットルームに入室することができます。再入室不可にするには、ブロック機能を使う必要があります。詳細は、p.9 「10)参加者をブロックする」をご確認ください。

ブロックリスト

p.9 の要領で、ブロックした参加者がいる場合、ブロック登録を解除することで再度入室できるようになります。

参加者名の右側の「削除」をクリックすると、ブロックリストへの登録を解除することができます。



10)参加者をブロックする

参加者を特定のルームに入室させないための機能として、ブロック機能があります。削除とは異なり、同じルームへの再入室ができなくなります。

ブロックされた参加者は、チャットルームから強制退出となると同時に、ブロックをされている旨が通知されますので、利用の際には十分注意しましょう。



参加者側の通知画面

【ブロック方法】

(1)チャットルーム内のルーム名をクリックする。



(2)参加メンバーから参加者名の右側の「ブロック」をクリックする。



(3)ブロックするか確認があるので、「決定」をクリックする。



【解除方法】

一度ブロックした参加者を再度同じルームに入室できるようにするためには、ブロックリストからの削除が必要となります。

詳細は 9)チャットルームの管理> ブロックリストをご確認ください。

4. ゲストユーザの設定・操作方法

次に、ここからは招待を受け取った参加者(ゲストユーザ)の設定・操作方法について説明します。

1)チャットルームへの入室方法

「招待 URL」または「QR コード」の場合

URL をクリックまたは QR コードを読み込んで、ウェブブラウザから UniTalker へアクセスします。

※この際、以前ログインユーザとして、利用していたことがあるなど、ログイン情報が残っているパソコンでは、自動的にログインユーザとして扱われます。

チャットルームに入室した後、自分がログインユーザかゲストユーザか確認するには、右上の三点リーダー から設定画面を開いてください。ゲストユーザの場合は、「設定」のみが表示されますが、ログインユーザの場合は、「設定」と「ログアウト」が表示されます。



【ログインユーザ】



【ゲストユーザ】

短縮コードの場合

(1) UniTalker のホームページ(p.2 参照)にアクセスし、「ルームの招待を受ける」をクリックする。

(2)短縮コード(数字 6 桁)を入力し、「参加する」をクリックする。



2)表示名やテキストの色などの設定

ルーム入室前に表示される「入室する」ウィンドウ内で、自分の「表示名」「テキストの色」「テキスト背景色」などを設定し、右下の「決定」ボタンをクリックします。

※ここで設定した「テキストの色」と「テキスト背景色」の組み合わせが自分の発言の表示色となります。他の人の画面にも反映されますので、見えづらい組み合わせにならないように気をつけましょう。設定後も変更可能ですので、チャット入力をして見え方を確認し、調整しましょう。



3)チャットの入力

p.7「ログインユーザ>6)チャットの入力」をご確認ください。ゲストユーザの場合、入力確定後の文を修正することや、確定後に削除することはできませんのでご注意ください。なお、ルーム作成者が編集を許可している場合、修正が可能となります(設定方法は p.8 「9)チャットルームの管理>メンバーリスト」をご確認ください)。

4)チャットの終了

p.7「ログインユーザ>8)チャットの終了」をご確認ください。

ゲストユーザは、招待 URL や QR コード、短縮コードの有効時間が切れたあとにログアウトしてしまうと、元の会話に入室できなくなってしまうのでご注意ください。

再度入室する場合には、チャットルーム作成者に招待 URL や短縮コードを再発行してもらいましょう。

5. おわりに

本マニュアルでは、少人数の会話で用いることができるチャットツール UniTalker について紹介させていただきました。

PEPNet-Japan の企画でも、UniTalker を活用した学生同士の交流会を実施した経験がありますが、参加した聴覚障害学生からは、以下のような感想が寄せられていました。

「こんなに楽しい雑談は初めて。5 人の参加者のみんなが言っていることが分かるし、他の人の会話にも自分からツッコミを入れることができた。」

「いろいろな会話が飛び交う中で、自分も同じように発言できたし、入力中の文字も見えることで発言が終わる前からコメントを入れることができ、一緒に参加している実感が持てた。」

集団での会話は、聴覚障害学生にとって、とても難しい場面の一つです。ただ、そんな中でも、その場にあったツールを選択することで、聴覚障害学生も一緒にコミュニケーションを楽しむことができるかもしれません。今回、ご紹介したツールは、その一例に過ぎませんが、ぜひ参考にいただければ幸いです。

※作成にあたり、開発者の鈴木拓弥先生より画像の使用ならびに記載内容の許可を得ています。

- 発行日：2023年5月15日
- 執筆：吉田 未来(筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター)
- 協力：鈴木 拓弥(筑波技術大学 産業技術学部 教授)
- 編集：日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)事務局
- 発行：筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター
〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15 TEL/FAX 029-858-9438
E-mail:pepj-info@pepnet-j.org URL <https://www.pepnet-j.org>

※本事業は、筑波技術大学「聴覚障害学生支援・大学間
コラボレーションスキーム構築事業」の活動の一部です。